



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第48号
令和3年9月 日

前号で入道雲を話題にしました。記事を書きながら、夏の空を見上げて「あの雲は龍の頭に似ている。どうしてあんな形になるのだろう」と語り合う二人の小学校2年生に出会ったことを思い出していました。「どうしてだろう」と不思議に語り合う子供たちに出会えたことを嬉しく思い、金子みすゞ氏の右の詩を添えながら通信に載せたのでした。

身の回りには「ふしぎ」がいっぱい。でも一番不思議だったのは「不思議なことなのに、それを不思議と思わず、当たり前と笑っている」ことだったので。

橋船が右や左に揺れることによって前に進んでいくように、子供たちは「なぜ?」「どうして?」を解決していこうとする道のりの中で、揺れながら逞しく生き抜いていく力を身につけていくのでしょう。

ふしぎ
金子みすゞ

わたしはふしぎでたまらない、
黒い雲からふる雨が、
銀にひかっていることが。
わたしはふしぎでたまらない、
青い桑の葉をたべている、
蚕が白くなることが。
わたしはふしぎでたまらない、
たれもいじらぬ夕顔が、
ひとりではらりと開くのが。
わたしはふしぎでたまらない、
だれにきいても笑って、
あたりまえだ、ということが。

今回は岱明中学校区 5 校(大野小、睦合小、鍋小、高道小、岱明中)の活動の様子を紹介します

岱明中学校

生徒の感想を紹介します。

【全学年:交通教室】
=交通指導員 岡部様=



命の大切さについて考えることができた。自分の命を守るための行動を心がけたい。

【1年生:生き方講話】
=書家 徳村様=



百折不撓という言葉のように、自分の夢に向かい、何度失敗してもあきらめずにがんばりたい。

【ボランティア委員会・生徒会:花壇整備】
=民生児童委員10名=



これからも花のお世話を続けてきれいに咲かせたいです。

大野小学校

子供たちと久々に会えて嬉しかった。(ボランティアの方の声)

【3年生:タブレット学習】



ローマ字入力が難しそうでした。でもタブレットの使い方は大人よりも上手。インターネットの沢山の情報に混乱気味。ボランティアの方に漢字の読み方を教えていただきました。

【3年生:習字】



まだ2回目の習字で、まず道具の置き方から。筆の使い方が難しかったようで、ボランティアの方に手を持ってもらい書く子も。一人で書くよりきれいに書けたととても喜んでいました。

【1~3年生:読み聞かせ(いしころの会)】



《ボランティアの方の声》
初めての読み聞かせは緊張したけれど、子供たちが喜んでくれて良かったです。次は何を読もうか、私も楽しみにしています。



《ボランティアの方の声》
真剣な眼差しで読み聞かせを聞く子供たち。読み手の私も、物語に入り込んで読むことができました。姿勢正しく最後まで集中して聞いてくれました。

睦合小学校

「横島干拓について、詳しい方のお話を聞いて学ぼう」
6年生 総合的な学習の時間

横島町文化財保存顕彰会(4名)の方々に来ていただきました。事前にインターネットを用いて調べ学習を行っていましたが、「いつ」行われたのかははっきり結論を出せずにいました。「干拓と埋め立ての違い」「岱明校区の鍋小学校近くの501号線に岱明町の干拓の跡、石垣が見られること」「横島町の干拓は長い時間をかけて行われたこと」「南関町や荒尾市の人々など、遠くの方も干拓の作業を担っていたこと」「長い年月をかけて干拓が行われてきたこと」「潮害との闘いの歴史」など詳しくお話していただきました。



《児童の感想》

- インターネットで調べたときにわからなかったことを知ることができました。干拓には何があるのか、どのようにできていったのかがわかりました。人柱を立てて干拓していったこともわかりました。
- 干拓と埋め立ての違いを初めて知りました。干拓を行うのは大変なんだなと思いました。
- 干拓はメリットばかりがあると思っていましたが、干拓するまでの人々の努力や私が知らなかった潮害のことを知って驚きました。講師の先生がおっしゃっていた動画を見て、干拓を作るときのことや潮害のことについてももっと詳しく知りたいです。

鍋小学校

【全年：読み聞かせ】
＝くすくすの会＝



《担任の先生の声》

- 話の中に引き込まれていくような感じがしました。子供たちは、いつもと違う雰囲気だったので、静かに聞き入っていました。
- 時間があつたので、同じ話を2回読み聞かせしていただきました。2回聞くと新しい発見があり、絵本の世界が広がりました。繰り返し読むことは大切だと思いました。

【6年：干拓について学ぼう】
＝横島町文化財保存顕彰会＝



《担任の先生の声》

- 校区の歴史について、詳しい方がいて大変助かりました。スライドを用いて丁寧に分かりやすく説明頂きました。干拓の歴史が分かり鍋小校区が更に好きになりました。
- 《児童の感想》
干拓のことは何となく知っていました。これだけ大変な苦勞があり、干拓がつくられたとは知りませんでした。自分の住んでいる地域の歴史を知ることができよかったです。ありがとうございました。

【5年生：裁縫 手縫い】



《担任の先生の声》

- 手縫いの経験のない子供たちにとって、4人の補助はありがたかったです。「できた！」の聲があがり、達成感を味わうことができました。
- 《児童の感想》
玉止めが上手くできないときに、ボランティアの方が横について丁寧に教えてくださったのでうれしかったです。おかげで、できなかったことができるようになりました。夏休みが明けたら小物づくりをするので、教わったことを生かして頑張ります。

【5、6年生：ワリの手すき体験】
＝岱明漁協、県水産課＝



《担任の先生の声》

- 地元の産業を体験する機会に恵まれ、大変ありがたかったです。様々な職業を体験することは、子供たちの将来にとってすごく大事なことです。楽しそうに海苔すきをしている子供たちの姿を見て、体験に勝るものはないと感じました。
- 《児童の感想》
海苔はよく食べますが、どのように作られているのか知りませんでした。海苔が更に好きになりました。ミッキーの形の海苔を作ることができて楽しかったです。

高道小学校

「地域や保護者の皆様の心強い支援」



【イモ栽培活動支援】

一昨年まで本校の縦割り班活動として行ってきたサツマイモの栽培活動でしたが、昨年度から新型コロナウイルス感染症の感染予防のため大勢での栽培活動が難しくなりました。しかし、収穫の喜びを味わってもらいたいという現旧保護者の思いが強く、PTA有志による「イモ部会」が結成され、イモの栽培活動を担っていただきました。作業は畑の耕耘から畝づくり、マルチシート張り、苗の植え付け、草取りまで全てです。今後、イモが成長し収穫できることを楽しみに待っているところです。



【防犯・パトロール隊の活動】

校区の方々の防犯意識が高く、各地区の区長・民生委員・補導委員・保護者の皆様が子ども達の身を守るために日々活動して下さっています。朝の交通指導や下校時の見回りは天候が悪い中でも活動して下さっています。

次号No.49では有明中校区4校(大浜小、豊水小、横島小、有明中)の活動の様子をお伝えしようと計画しています。活動の様子分かる写真、その活動に関わる子供・ボランティアの方・教職員の感想などを9月末日までに community@city.tamana.lg.jp までお寄せください。よろしくお祈りします。